

第1回田原市総合計画審議会会議録

会 議 名	第1回田原市総合計画審議会		
開 催 日 時	平成23年12月15日(木)13:30～15:50		
開 催 場 所	田原市役所 第1委員会室		
出 席 者 氏 名	別紙「参加者名簿」のとおり		
欠 席 者 氏 名	河合成幸委員 荒木英夫委員		
会 議 事 項	1. 議題 (1)会長の互選について (2)会長職務代理者の指定について (3)顧問及び参与の委嘱について (4)田原市総合計画改定の概要について (5)田原市の現況と今後の議論のポイントについて (6)総合計画(中間改定)の骨子(案)について 2. 田原市総合計画策定に係る意見交換		
会 議 の 経 過	別添のとおり		
会 議 結 果	1. 会長に戸田敏行委員を選任 2. 職務代理者に山本達夫委員を指定 3. 会議の原則公開を決定 4. 顧問及び参与の委嘱について同意 5. 計画改定の概要、現況と議論のポイント、骨子(案)を説明		
会 議 録 の 確 定			
確定年月日	委	員	署 名
平成 23 年 12 月 15 日	金 田 信 芳		
	赤 尾 昌 昭		

開会

<政策推進部長>

それでは皆さんこんにちは。

少し時間が早いですけれど、予定されていたご出席がございましたので、ただいまから始めます。

私、政策推進部長の横田と申します。冒頭の進行をさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。会議に先立ちまして、机の上のマイクの取扱いについてご説明させていただきます。机の上に小さな箱がありますが、これは発言する場合には白いところを押していただくと赤のランプが点きますので、ランプが点きましたらご発言していただければと思います。

それでは定刻となりましたので、ただいまから田原市総合計画第1回審議会を始めさせていただきます。

本日は、第1回目の会議でございます。会議の取り回しを行う会長が選出されるまでの間、私が会の進行をさせていただきますので、よろしくお願をいたします。それでは議題に入ります前に鈴木市長から皆様にごあいさつを申し上げます。どうぞよろしくお願いたします。

市長あいさつ

<<市長>>

みなさんこんにちは。委員の皆さんには年末のお忙しい中、この度は総合計画審議会の委員ということで、それぞれのお立場で大変お忙しい中をお引き受けいただいて誠にありがとうございます。本来であればお一人おひとりに辞令をお渡しするところがございますが、時間の省略化を兼ねて手元に置かせていただきましたので、どうぞよろしくお願いたします。

ところで、今の第1次田原市総合計画は、渥美半島が一つになって、合併後の新しいまちづくりの指針として平成19年度に策定したものでございます。そうした中でこれまで総合計画に基づきまして着実に一步一步進めてまいったところがございますが、この間、本当に時代の転換期を思わせる大きな変動期でございます。ご存知のとおり、リーマンショック以降国内はもとより世界的な経済の低迷もございますし、また政権が変わって国の政策の方向性も変わってまいりました。また最近では特にヨーロッパの状況等、将来世界がどうなっていくか本当に不透明な時でございます。まさに政局も混沌としております。そうした中でこの総合計画をもう一度、今、足元から将来を見据えて見直しを行う必要があるということで今回、総合計画の改定作業を始めたところがございます。背景・趣旨等々は後ほど事務局からご説明いたします。又、国においては昨年、地域主権戦略大綱が閣議

決定されまして、地域主権の改革が一步一步進められておりますが、これも思うように進んでおりません。そして特に東北大震災3・11以降、まさに戦後の復興と同じような形で震災復興にかかってゆくというのが、日本が置かれている立場でございまして、おのずからこれからの力は震災復興に注がれ、多くの財源が復興事業にとられてしまう。現に基盤整備等々は3割減とか、あるいは極端にいうと半減するものもございまして、私共自治体をめぐる状況というのは厳しい状況でございまして。そうした中でこれからは国・県に大きな期待はできませんので、この田原市は、やはり自立したまちを目指していかなければいけない。そのためには当然、農業・工業・商業等々産業基盤が必要でございまして。そしてまたもう一つは地域の持つ力をもっともっと発揮していく、こういった状況におかれているのではないかなという認識をしております。国や県を頼りにできないという自立した気持ちと、しかしながら大きな課題・地域の課題というのは、国・県の事業がほとんどでございまして。そういった面ではこれからは国・県の後に付くのではなくて、国・県の力をうまく活かしながら、地域が独立した気持ちでこれからの地域づくりをしていただきたいと思っています。幸いにして、この田原市、10月に日経新聞にて産業地域研究所で発表されましたサステナブルシティで全国都市の中でトップにランクをされました。過去、隔年ごとに行われまして、今回3回目でございますが、これまで8位、8位ときて今回思いもかけずに1位を頂きました。経済の豊かさ、環境への配慮、経済と環境への両立、そして社会的な安定など、安心・安全公正な行政が行われているかという指標でございまして、そうした中でトップというのは心に響く出来事でございまして。これは、これまで長年に渡って努力をしてきた結果でございまして、この1年や2年、数年ではなく、10年・20年前から地域として着実に推進してきた。そのためには審議会の皆様の努力があったと。その結果が現在でございまして、そういった面でこの力があるということを十分現状認識をしていただいてこの力を経済力持続可能なまちとして将来に向けて発展していくために皆様のお知恵をお借りしたいなと思っています。この渥美半島、意外と地域の方々は良さ・本当の力をまだまだ実感されていないのではというふうに思っております。そういった面で力を十二分に発揮するような、そういった方向性を打ち出していただければと思います。

そしてもう一つは、先日ブータン国王が見えましてブータンは幸福度（GNH）の高い国であるという話でございました。まさにこの田原というところは経済力、幸福度を求める、多くの自治体の中でもやれる力のある地域であると思っています。これから新しい5年・10年先を見据えながら過去を振り返り、いいところを残して、いろいろなしがらみを乗り越えて規制の枠を乗り越えて田原が10年・20年先、新しい夢の持てる地域となる方向性を打ち出すことができるように、審議会の皆様と一緒に取り組んで行き、こういった方向性を見出せばありがたいなと思っています。第1次総合計画も審議会の皆様の英智を結集して作成されたものではございますけれども、今回の見直しに当たっても、地域の皆様方、あるいは審議会の皆様方のお知恵をもっともっと出していただいて本当の

意味の市民参加における総合計画の見直しにして行きたいと思っていますので、是非そういった面で皆様方の思いをどのようなことでも結構でございますので、披露していただきまして、しっかりした方向性を打ち出してもらいたいと思っておりますので、どうかよろしく申し上げまして冒頭のごあいさつとさせていただきます。これから今年度・来年度とかけて策定してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

<政策推進部長>

ありがとうございました。

委員の紹介

<政策推進部長>

さて、委員の方の名簿を資料1で添付しておりますのでご覧ください。本日は、初めての審議会でございますので、ここで委員の皆様のご紹介を簡単にさせていただきます。大変恐縮ではございますが、後ほど自己紹介と意見交換の場もございますので、こちらからご紹介させていただきたいと存じます。窓側の方からお名前をお呼びしますので、よろしくお願い致します。

(以下の順により事務局紹介)

金田信芳委員⇒赤尾昌昭委員⇒太田由紀夫委員⇒山本明子委員⇒山本達夫委員⇒光部利秀委員⇒河邊寿夫委員⇒中神享三委員⇒山田俊郎委員⇒渡會一昭委員⇒藤城正行委員⇒今泉隆一委員⇒森下吉直委員⇒林 和彦委員⇒豊田慈證委員⇒鈴木眞一郎委員⇒大羽チズエ委員⇒太田繁芳委員⇒塚本純久委員⇒柴崎 剛委員⇒森下智恵子委員⇒別所淳二委員⇒戸田敏行委員

以上、お名前を紹介させていただきました。

<政策推進部長>

本日の会議には、委員のうち田原市農業委員会の河合成幸さん、愛知県漁業協同組合連合会の荒木英夫さんが所用により欠席しておりますので、ご報告をさせていただきます。

議題

会長の互選について 議題 1

<政策推進部長>

それでは、続きまして、次第2の議題に移ります。

まず、議題1として、この審議会をとりまとめ、代表していただく会長を選任していただきたいと存じます。

資料2をご覧ください。当審議会の会長につきましては、田原市総合計画審議会条例第4条によりまして、「委員の互選によってこれを定める」と規定されております。また、裏面の田原市総合計画審議会運営規定第2条第1項には会長の互選の方法及び第2項には指名推薦によることができる旨が規定されております。

従来におきましては、投票による互選ではなく、運営規定第2条第2項の指名推薦の方法で行っております。この指名推薦といいますのは、選挙を行うに際しまして委員に異議がない時は特定の候補者を指定して会議にかけまして、全員の同意によって、当選人とする簡易な選挙の方法となります。今回もこの指名推薦方法で行いたいと思いますが、これにご異議はございませんでしょうか。

(異議なしの声)

<政策推進部長>

ありがとうございます。ご異議がないようでございますので、会長の互選につきましては、指名推薦の方法で行います。それでは委員の皆様、どなたかご推薦をお願いいたします。

〔山田委員から発言〕

大変ご苦勞様ですが、戸田委員さんをお願いするということではいかがでしょうか。

<政策推進部長>

ただいま「戸田委員に」というお声でしたが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

<政策推進部長>

それでは、当審議会の会長は、戸田委員をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。それでは戸田委員、恐れ入りますが前の会長席にお移りください。

それでは、これからの議事の取り回しにつきましては、当審議会運営規定第6条によりまして、会長をお願いいたします。進行にご協力いただきまして、ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

《会長》

戸田でございます。改めてよろしくお願ひいたします。

田原の総合計画の審議会の会長ということでご指名をいただきまして大変重責を感じております。存じ上げている方も沢山いらっしゃると思いますが、前の総合計画の審議会、あるいはその前の合併の時は大変お世話になりまして、そういう意味では田原そして渥美半島と非常に親しくさせていただいており、第二の故郷のように感じております。さきほど、市長さんから今回の審議会の位置付けについてお話を伺いました。大変困難な状況であるということは一つの前提であると思います。これは田原市のみならず日本全体が、ちょうど人口でいきますと明治時期3,000万だったものが、今は大体1億2,700万。これが反転に入りますから、国内の状況としても大転換にあることは間違いないというふうに思います。また市長さんの話にございましたように、国際という状況も変化であることは大いに間違いないことです。また一方で田原のこれまでを考えてみますと、特に産業で申しますと農・工両全。この両面が成功したところとしては渥美半島が、日本で最も成功したエリアであるということも間違いないことであると思います。そういう基盤をどのように活かして、広い視野の中で資源を発見し、繋いでいくか、そういう地域力を作っていくこと、波及をしていくことが総合計画の非常に大きな目標だというふうに思っております。その意味では、これも市長さんのごあいさつにありましたが、委員の皆様方、また、市民の皆様方一人ひとりの発想と、そこに参加をしていこうという協力、参画、協働が、総合計画の実体化をしていくものであるというふうに考えております。

この4月から愛知大学地域政策学部ができて、まだ学生は1年生ですが、これから徐々に育っていくということでもあります。地域政策学部の第一歩となる非常に大きなプロジェクトが今回の田原の事業であります。また後々、事務局からご説明があると思いますが、市民の参画の場というところに愛知大学の学生、それから教員がいろいろな面で参加をさせていただく。そういう意味では大学も協働させていただく、そういうプロジェクトとして今回の田原の総合計画というものを考えておりますので、その点におきましても是非皆様方のご協力をいただきたいというふうに思っております。是非よろしくお願ひいたします。

会長職務代理者の指定について 議題2

《会長》

それでは早速、審議の方に入ってまいりたいと思います。

議題2の「会長職務代理者の指定について」ですが、これは当審議会条例第4条第3項に「会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指定する委員がその職務を代理する」とございますので、私から指名させていただきたいと思います。

地域コミュニティ連合会会長の「山本委員さん」にお願いいたしたいと思ひます。よろ

しくをお願いします。

会議の公開

《会長》

なお、議題3に入ります前に委員の皆様方にお諮りします。本審議会につきましては、公正で透明な会の運営を図るということになっております。市民の皆さんの関心を促すためにも原則公開としたいと思いますが、ご賛同いただけますでしょうか。

(異議なしの声)

《会長》

ありがとうございました。それでは、原則公開とさせていただきます。

顧問及び参与の委嘱 議題3

《会長》

それでは議題に戻りたいと思います。

議題3になります「顧問及び参与の委嘱について」を議題といたします。それでは事務局から説明をお願いします。

<政策推進部長>

お手元の資料3をご覧ください。顧問及び参与の委嘱につきましては、当審議会条例第5条第1項に「審議会に顧問及び参与を置くことができる」と、同条第2項に「市長が審議会に諮って委嘱する」とございます。資料3にございますように愛知県議会議員の山本浩史氏の1名を顧問とし、林副市長、川口教育長の2名を参与として委嘱したいとしますのでございます。どうぞよろしく願いいたします。

《会長》

ただいま事務局からご説明がありましたが、何かご質問がございますでしょうか。ご意見がなければ、事務局案どおり委嘱をお願いしたいと思います。よろしいですか。

(異議なしの声)

《会長》

ありがとうございました。ご異議ないようですので、顧問及び参与の委嘱につきましては、お手元の資料3のとおりそれぞれ委嘱することに賛同するとします。

ここで事務局から顧問及び参与につきましてお願いがあるようですのでお願いいたします。

<政策推進部長>

それでは、今しがた顧問・参与の委嘱につきましてお許しをいただきましたので、ここからは顧問・参与の方々にも会議に出席をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(顧問・参与入室)

<政策推進部長>

顧問・参与の委嘱状につきましては、議事の進行もごございますので、大変失礼かと存じますが略式とさせていただきます、お手元に配布させていただきますのでご理解を賜りたいと存じます。

顧問及び参与の紹介

《会長》

顧問、参与の3人の方が加わりましたので、顧問・参与の方々を事務局からご紹介いただけますか。

<政策推進部長>

それでは事務局から紹介させていただきます。

愛知県議会議員の山本顧問、続きまして田原市副市長の林参与、田原市教育長の川口参与、でございます。

《会長》

ありがとうございました。

田原市総合計画改定の概要 議題4

《会長》

それでは、議題4に移りたいと思います。議題の4「田原市総合計画策改定の概要について」事務局から説明をお願いします。

事務局説明

＜政策推進課長＞

事務局の政策推進課長の鈴木と申します。よろしく申し上げます。私の方から田原市総合計画改定の概要についてご説明させていただきます。

まず始めに田原市総合計画概要版をお出しいただきたいと思います。概要版の一枚めくっていただきまして、序論のところになります「総合計画のしくみ」についてですが、田原市における総合計画というのは、市における最上位な計画でして、いわゆるまちづくりにおける憲法と言われる性格を有するものでございます。総合計画の仕組みとしましては「基本構想」「基本計画」及び「実施計画」、この3部門から構成されています。

基本構想は、現在の第1次総合計画におきましては2030年頃の実現を目指す「将来都市像」「都市構造」及び「施策の方針」などを示しているものでございます。続きましてその下の基本計画になりますが、基本構想に定めた施策を実行するため2007年から2016年度までの10か年に行うべき事業の方向性などを示しているものでございます。そして実施計画は「向こう3か年の間に実施する事業の内容」を毎年ローリング方式で策定するものでございまして、現在までに第6期までの実施計画を策定をさせていただいております。これが、いわゆる田原市の総合計画「基本構想」「基本計画」「実施計画」です。いろいろ今後、「基本構想」「基本計画」という言葉が出てまいりますので、この前提として覚えておいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、資料4の方につきまして私の方から今回の改定の目的等につきまして、ご報告をさせていただきます。一枚めくっていただきまして、まず1ページのところがございます「総合計画改定の趣旨」でございますけれども、冒頭市長の方からもありましたように、行政を取り巻く環境は大きく変化してきていること、それから、この地域主権改革によりまして自己決定・自己責任による自立した地域経営が求められてきていること、そして、経済のグローバル化の著しい進展や、今後予測されますTPPへの対応など新たな課題も現れてきています。それから高度化・多様化している市民ニーズを的確に把握し、より一層戦略的な政策の実現を目指すこととしております。そして冒頭ありましたように、今まではどちらかというと「国民総生産」(GNP)の物質的な満足度から、精神的な満足度であります「国民総幸福量」いわゆる「GNH」と言われるものが注目されるようになってまいりました。それから今後の地方分権時代に対応できる新たな視点に立脚した行財政運営の指針となる、このような目的で改定を実施していきたいと考えています。今回の基本計画の改定は原則、基本計画について行うものですが、各種調査や策定の過程において必要が生じてまいりましたら、基本構想についても一部改定を行っていきたくております。そして、本計画の策定期間ですけれど平成23年から平成24年度まで2か年としたいと思っております。

それから今回の計画につきまして、今年度、地方自治法の改正がございまして総合計画における基本構想部分については、議会議決要件ではなくなっております。しかし総合計

画というのは、市の最上位の計画でございますので、田原市議会の承認、議決を得ることを前提とした議論で策定を進めていけたらと思っております。そして市民意向の計画への反映を図るものとしております。

そして右側のページになりますけれども、市民と行政が未来を共有し、協働で取り組む計画、また、まちの魅力とブランド力を高める計画としまして、本市の個性と資源を活かした田原市らしい総合計画を目指していきたいと思っております。そして、行政の経営指針として活用できる計画として、行政運営をマネジメントできる進捗管理システムの構築を目指してまいりたいと思っております。

続きまして2ページです。

今回の総合計画の改定体制であります。冒頭にもありましたように、田原市長から田原市総合計画審議会への諮問を受けまして、総合計画審議会に必要な調査・審議をお願いするものでございます。次にその下の市役所内部の体制でございます。田原市総合計画分野部会は、各部長を中心に7部会を設置してまいります。それから田原市総合計画戦略部会は、各部会ごとに分野部会長が指名する若手職員で構成し、その下に我が政策推進課が事務局として戦略プロジェクトに係る連携・調整を行ってまいります。それから、田原市の総合計画総合部会ということで、実施を予定しております。次にまちづくり市民会議は市民の皆様方からいろいろな意見を聞く場として設置してまいります。これにつきましては、市内の各種団体からの推薦委員さん、市民公募委員さん、さきほども出ておりました学生委員として愛知大学の学生さん、アドバイザーとしまして愛知大学の教員に部会ごとメンバーに入ってくださいこととしております。それからファシリテーターとしましてはコンサルタントを予定しております。目的はさきほども言いましたとおり、市民参画・協働の観点から分野別計画案の検討・審議をお願いするものと、戦略プロジェクトの推進方策等の検討をお願いするものであります。

部会につきましては、6部会を予定しております。市役所の方の総合計画戦略部会は7部会でございますけど、都市建設分野部会と水道分野部会を合体して、まちづくり市民会議では都市整備部会として行ってまいりますので、6部会になります。それぞれ各部会ごとのメンバーにつきましては、お手元の資料5に載せさせていただいております。少し空欄になっているところがございますが、愛知大学の学生さんにつきましては大学の方で鋭意努力して今後、名前を埋めてもらうような形でお願いしているところがございます。

ここにもありますように、各皆様方からのご推薦をいただいた委員さんも、まちづくり市民会議に参加して、それぞれの部会に所属してもらって検討をお願いするものでございます。また地域政策学部の先生方にも、各部会へ所属して専門的な見地からアドバイス等をいただくこととしております。

続きまして3ページをご覧くださいと思います。

今回の改定スケジュールでございます。全体としましては、計画原案作成等を来年の秋口をめどに改定作業を行ってまいりたいと思っております。来年12月頃には議会報告を予定し

ていきたいと思っております。次にページ中段の総合計画審議会でございますが、本日第1回目を皮切りに、本年度内は3月に第2回目、24年度に5回程度予定しまして、概ね来年11月頃答申をいただくということで、全体としては7回程度予定をさせていただいております。それから、まちづくり市民会議の予定は、この12月19日に第1回目の全体会を行いまして、それぞれの部会、それから全体会等を実施していくものでございます。それから来年夏には子ども会議ということで、中学生を中心とした子ども達からの意見をもらい、今回の計画に反映していきたいと思っております。

続きまして4ページになります。

これは第1次総合計画に係る基本事項の確認ということで、基本構想の位置付けでございます。将来都市像としましては「うるおいと活力のあるガーデンシティ」を目指すものでございます。都市構造としましては、効率的で秩序ある市域空間を目指し、都市構造のイメージをしたものでございます。そして右側になりますと、まちづくりの方針ということで、包括的視点としまして「まちづくりの方針」6つの方針を示したものでございます。それから、施策大綱につきましては「柱となる5つの分野」とまちづくりの方針を集約した「総合戦略」ということで、現在施策大綱は6大綱ということで策定をしております。それから、都市将来指標としまして2030年頃を目標としました、将来都市像の実現状態を示す指標が定めてございます。

続きまして5ページになります。

こちらが基本計画の概要でございます、2007年度～2016年度までの10か年に取り組み各施策を基本計画として定めたものでございます。まず前提条件としまして、本市の都市経営の指針を示したものとしまして都市経営指針がございまして。それから右側ページのところには、第1次総合計画における分野別計画の施策体系を階層別に示しており、施策としましては全49施策、基本事業としましては全162事業、その基本事業の下に約1,000本の事務事業があります。各分野の主な施策のキーワードにつきましては、ご覧のとおりでございます。それから分野別計画、そして計画推進体制、このような形で基本計画というのが定められておるところでございます。膨大なボリュームのところを早口で申し上げたので、なかなか理解がしにくいかと思いますが、よろしく申し上げます。以上、説明を終わります。

《会長》

ありがとうございました。田原市の総合計画改定の概要ということで、今回の計画の位置付け、策定の体制スケジュール及び全体計画の説明がございました。この説明につきまして、何かご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

《会長》

よろしいでしょうか。また後ほど意見交換の場がございますから、その時に質問・ご意見を出していただけたらと思います。

田原市の現況と今後の議論のポイント等 議題 5

《会長》

それでは次に移らせていただきます。議題5の「田原市の現況と今後の議論のポイント等について」事務局から説明をお願いします。

＜政策推進課長＞

さきほどの資料4の6ページをご覧ください。

田原市の現況と今後の議論のポイント等につきまして、簡単にまとめさせていただいたものでございます。まず、人口の動向でございます。ポイントにもありますように、田原市においても「人口減少」「人口構造の変化」は確実に進行しているということです。「人口減少」「人口構造の変化」及びその「対応策」を、総合計画に「どの様に」「どの程度」反映させるのか。まず人口減少でございますが、今後のまちづくりに大きく影響を及ぼすものでございまして、現実的な「政策加算人口」の設定が必要ではないかというふうに思っております。それから、人口構造の変化、少子高齢化の進行・生産年齢人口の減少によりまして「都市基盤整備」から「福祉」へということではなっております。

まずその下に、人口の推移を記載させていただいております。総人口の推移ということで、国勢調査の推移でございます。平成22年の国勢調査の結果では64,119人で、前回平成17年度から比べますと約2,200人程減少になっているという状況です。そして、その下は第1次総合計画における人口推移の考え方を示させていただいております。それから、右側のページになりますと、今後の基本構想で目標としております平成42年までの総人口の推計を示したものであります。上の表が国勢調査にもたれて推計したものでございまして、64,100人を基準にしてコーホート要因法による推計値になりますが、目標としている平成42年頃には53,300人ということではございます。こちら緑色の部分が65歳以上の高齢化の人口でございまして、ブルーの部分が0～14歳で年少人口ということで少子高齢化が着実に進行する見込みとなっております。それと、その下段につきましては、同時期に行っております平成22年10月1日、いわゆる国勢調査の基準日ですけど、その時に住民基本台帳における人口は、66,400人でございました。その66,400人を基準として考えていった場合には、平成42年には61,800人というような形で、非常に今回の国勢調査と住基の関係は差が出てまいります。この辺につきまして、どちらを使っていくのかも含めまして、また次回以降皆さん方にもいろいろなご意見をいただければ、というふうに思い紹介をさせていただいております。

次に7ページになります。

田原市の財政の状況でございます。この「世界同時不況」「長引く円高」は、田原市にとっても財政に大きく影響を及ぼしているものでございます。当面の財政回復が見込めない中で、予算の「選択と集中」をどのように図っていくか、いわゆるどの分野に、どのように、どの程度予算を配分していく必要があるのか、また、田原市に欠けているものは何か、今後推進していかねばならない事業は何か、という面で財政を含めて検討をお願いしたいと思っております。その下に田原市の製造品出荷額の推移、それから一般会計決算額の推移がございますけれど、こちら平成19年度に比べますと、やはり平成22年度ではかなり大幅な予算決算額も削減されてきています。そしてページ右側の方に市税の推移を記載させていただいております。平成19年度には224億1,400万円と過去最高の税収がありましたが、この23年度では133億5,200万円と予算計上をされているところであります。特に赤字で書いてあります法人市民税が平成19年度では101億8,700万円程の税収がございましたけれど、平成23年度の税収見込みとしましては5億5,700万円ということで95億余減収となっているのが、この表で分かっただけだと思います。それから、一般会計の推移予測でございますけれど、平成24・25・26年度につきましては概ね一般会計につきましては253億程度で推移すると思っております。平成25年度は283億5千万円と多くなっておりませんが、これについては、いわゆる投資的経費で、PFI事業で給食センターの建設を予定しております。これの買い取りの価格、それから三河田原駅周辺整備を重点的に整備していくため、25年度につきましては予算が大幅に増えております。

続きまして8ページをご覧ください。

一般会計歳出当初予算の推移予測でございます。やはり扶助費が伸びていくというような形で言われておりますし、この3か年につきましても概ね253億程度で見込まれております。そして、下段は特別会計等の歳入歳出見込みでございます。特別会計としましては、給食センター給食費から後期高齢者医療の関係、それと水道事業等がございます。一般会計とは別経理で特定目的の事業等を、特別会計として整理しているものでございます。やはりこの高齢化の進展に伴いまして、国民健康保険・介護保険の会計が順次拡大傾向にあるということが見てとれます。続きましてページ右側の方は主要財政指標の推移予測でございます。中段の表を見ていただきますと、財政調整基金の残高が平成26年度末は42億円、そして地方債残高につきましても244億円、それから公債費比率につきましては9.8%、自主財源比率も62%ですけれど、財政力指数というのは0.95です。これは1が基準になりまして、1を下回ると地方交付税の交付団体になるということです。田原市にとってはリーマンショック後の税収不足から、最近1を切っております、交付団体ということで0.95前後で推移すると見込まれております。それから、その下が長期財政計画と決算額の比較でございます。これにつきましては、第1次田原市総合計画を作った時の実績値及び今後の推移について示したものでございます。やはり第1次を作

った時も非常に厳しい総合計画の中の税収見込みでしたけれど、平成19・20年度は企業業績が好調なことにより、決算額は非常に大きくなっておりまして、その当時、財政調整基金で貯金をしまして、現在も貯金高が残っているという状況になってきております。

続きまして9ページの方の土地利用でございます。

ポイントとしましては「市街地整備」「土地区画整理」については、これまで着実に実施してきております。今後「人口減少」「人口構造の変化」「財政規模の縮小」が進行する中、下記についてどのように見直しを図っていくのか、ということでございます。いわゆる市街地整備の方向性、コンパクトシティの推進、遊休農地の対策、公共交通基盤のあり方について、このような形で土地利用についてはポイントとして行っていく必要があるのかなということで、田原市において農用地は33.8%と森林・宅地と比べて最も多くなっているのが実情でございます。

続きまして10ページになります。

これは市民意識調査の結果の内容をまとめさせていただいたものでございます。第1次総合計画の進行管理を図るということで、3年に1回ずつ市民の意識調査を実施しております。平成22年度に実施した市民意識調査の結果の回答を見ますと、市民の9割の方々は「田原市は住みよいまち」だと評価をいただいております。それから、田原市が優れていると感じることとして「自然環境」「農業」「人の温かさ」「隣近所の助け合い」の順となっており、これらが「田原市の強み」ではないかと思っております。それから、田原市に欠けていると感じることとしまして「交通の利便性」「買い物などの生活の利便性」「医療・福祉の充実」「余暇を楽しむ機会や場所」「雇用機会の充実」の順となっており、これらを充実するための施策について検討していく必要があると思っております。そして、市民が考える重要度が高い施策としましては「医療の充実」「高齢者福祉の充実」「学校教育の充実」「交通基盤の整備」「消防・救急体制の充実」等、こちらに適切に対応していく必要があるのかなと感じております。その下につきましては、これまでのポイントで示させてもらったものの、それぞれの項目ごとに示させていただいたものでございます。10ページ右側が、田原市が優れていると感じていることの全体のパーセント表示でございます。

それから11ページにつきましては、さきほどの田原市に欠けていると市民が感じていることですし、11ページ右側については、4番としまして、市民が考えております重要施策、このようなものを充実させて欲しいというような意見でございます。

次に12ページでございます。

これが、いわゆる第1次総合計画における施策別の満足度・重要度を示したものでございます。さきほどの市民の意見を元に、総合計画49施策を満足度・重要度で一覧表に示したものでございまして、左側縦軸に重要度が示してございます。下右側に満足度を示してございまして、重要度は高いけれど満足度が低いものとして、例えば医療の充実等がございまして、このブルーで囲ってある施策につきましてはAの部分になります。これは市民が、重要度は高いけれど満足度は低い、というふうに感じているものでございますので、ここ

ら辺りを今度の事業推進に当たっては検討していく必要があるものと思っております。

以上で「田原市の現況と今後の議論のポイント等について」の説明とさせていただきます。

《会長》

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、田原市の現状・現況、資料のポイント、アンケート等の紹介でしたが、何かご質問等がございますか。

《会長》

よろしいでしょうか。

総合計画改定の骨子（案） 議題6

《会長》

それでは次に、議題6の「総合計画改定の骨子（案）」について事務局から説明をお願いします。

＜政策推進課長＞

資料の13ページをご覧くださいと思います。

今回の総合計画改定についての骨子でございます。序論としましては、計画の基本事項・計画の前提事項としまして、田原市のまちづくりの基本的な課題について記述していきたいと思っております。続いて基本構想としまして将来都市像・都市構造・まちづくりの方針については基本的に《現行計画を継承》していきたいと思っております。それから4番目の将来都市指標の人口指標については定住人口（市内に住んでいただく方）、交流人口（市内で観光を楽しむ人・就労する人の人口）、活動人口（地域活動やボランティアへの参加割合の人口）、このような指標を設けていけたらと思っております。それから、その他の指標としまして経済関連、地域持続性、市民満足度、それに併せて必要に応じて「市民幸福度指標」の位置付けができたらなと感じておるところでございます。そして、基本計画につきましては都市経営指針を記述しまして、分野別計画。分野別計画につきましては、市民環境から、健康福祉・産業経済・都市基盤・教育文化・消防防災・都市経営の7つの分野別計画を作成していけたらと思っております。前回の総合計画は6分野として、消防防災につきまして前回は総合戦略の中でみておりましたけれど、3・11以降、防災に対する考え方や見直しというのが非常に強くなってきておりますので、できましたら単独で1項目おこせたらなと思っております。現在、7つの分野別計画を策定していきたいと考えておるところでございます。それから計画策定推進に向けては、この5項目を中心とし

で行っていききたいという形です。あとにつきましては、資料編という形になってまいります。

簡単ですけど、骨子の説明でございます。

《会長》

ありがとうございました。

「総合計画改定の骨子（案）」ということで「市民幸福度指標」ですとか、あるいは消防防災の項目を設けるといふ新しいポイントの説明がありました。何かご意見・ご質問等ありますでしょうか。

《会長》

それでは、これで2のところが終わりました。3の策定に係る意見交換ですけども、ここで10分程度休憩をさせていただいて、それから皆様のご意見をいただきます。では、あの時計で40分ということでもよろしくお願ひします。

田原市総合計画策定に係る意見交換

《会長》

それでは40分になりましたので、次第3の「田原市総合計画策定に係る意見交換」に入りたいと思います。

今回は最初の審議会ということですので、委員の皆様お1人ずつご意見をいただきたいと思いますが、最初に自己紹介をして、それからご意見をいただきたいと思ひます。時間が限られておりますので誠に恐縮ですが、短めにお願ひできればと思ひます。

それでは、別所委員さんから席の順番で、そして藤城委員さんから金田委員さんへ順に、そして最後に山本顧問にお願ひします。では、よろしくお願ひします。

別所委員

国際交流協会の会長をやっております、別所淳二と申します。

突然であり何も考えていませんでしたけれど、素朴な質問をしたいと思ひます。この市民意識調査の中で、施策の重要度のアンケート調査をまとめたものだろうと思ひますが、人の価値観というのはそれぞれ違うわけで「幸福度」とか、様々な判断の材料があるかと思ひますが、行政としてすべき一般的なことの上にそれら取捨選択できる要素を付け加える感じが大事ではないかと思ひました。例えば、教育一つとっても生涯教育とか家庭教育とかいろいろあるわけですけど、それ一つひとつを分割してことを考えるよりも、やはり教育「どういう人を育てたいか」「どういう人が社会の構成員になってもらえれば、良い社会ができるか」そういう根本的なこともやはり大事ではないかなという気がし

ました。本当に素朴な質問ですけども一つの質問とさせていただきます。

《会長》

ありがとうございました。質問ということでしたので事務局から何かございますか。

＜政策推進課長＞

はい。非常に難しい質問になっておりますけど、それぞれ学校教育の充実だとか生涯学習の充実につきましても、皆さん方が感じている、思っていることについてアンケートをさせてもらったものでございます。それについて市民の方々の意見を取りまとめたものでございまして、それについては、またそれぞれの担当部署において研究して施策に反映していきたいと思っています。回答にはならないかもしれませんが、よろしくお願いします。

《会長》

さきほどの策定の流れといいますか進めている中で「幸福度指標」等新たな取組みというのでも出ておまして、そういう中で今、別所委員さんがおっしゃったような「幸福度」はいろいろなとらえ方がありますから、そこでまた検討いただけるものと思います。それは事務局の方をお願いしたいと思います。

それでは続いて森下委員さんお願いします。

森下委員

農村生活アドバイザーの森下です。

農村生活アドバイザーといっても農家の一主婦でございますから、なかなか問題が大きすぎてはつきり把握してないですけども、意見といってもまだあまり自分の中で整理できていませんから、ここで勉強をしていろいろ意見を言えるような立場になっていきたいと思えます。

よろしくお願いします。

《会長》

ありがとうございました。会議の回数は7回ありますからよろしくお願いします。

柴崎委員さんお願いします。

柴崎委員

渥美半島観光ビューロー副会長の柴崎と申します。本業の方はホテル業ということで観光産業でございます。

さきほどの施策別満足度の中のブルーゾーンを見ますと、やはりポイントとしては交通基盤の整備という項目だと思います。その部分を踏まえれば医療の充実ですとか、観光の

振興ですとか、これからは防災体制の部分に相通ずるものが出てくると思っております。この交通基盤の整備というのが重要なかなというふうにも思っております、このところを踏まえて計画を策定できたらと思っております。

それから基本計画が2007年度からすでに4年経っている中で現在の進捗度というのが、どこを見ればそれが分かるのか教えていただけますか。

《会長》

交通についてはこれからの展開の中で留意していくということで。進捗度については説明がありますか。

＜政策推進課副主幹＞

政策推進課の河邊と申します。

今回の資料の中では申し訳ございません、計画の進捗度についてはお出ししてありません。実は現在、第1次計画の総括を分野部会の方で作業中でございます。これが12月末に取りまとめ予定となっておりますので、できましたら次回の審議会には結果もお出ししたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

《会長》

ありがとうございます。

《市長》

ちょっとすみません。(資料について) 次回の審議会の前にデータとして委員さんには、まとまった段階で事前にお渡ししてください。

＜政策推進課副主幹＞

では、出来上がり次第配布させていただきたいと思っておりますので、お願いします。次回は資料も事前配布させていただきます。

《会長》

では塚本委員さんお願いします。

塚本委員

渥美病院の塚本です。

さきほどの資料4の説明で重要な施策の満足度が低いという中で、医療の充実というのが挙げられていましたが、関係する者として実際に市民の方々が不安を抱いているということがよく分かります。また更に充実させなければいけない、日頃からそうやって言われ

ておりますが改めて感じた次第です。医療の充実につきましては、今まで市長さん始め市役所の方々、市議会の方々、市民の方々のご理解を得ていろいろ支援を渥美病院に対していただいておりますので、それに応えるように、これからもしっかりやっていかなければいけないと改めて思っております。現在お歳暮のシーズンで医局等に行ってあいさつをして、何とか人に来て欲しいと言っていますが、都会から見ると少し離れているということで、来る人が少ないという状況が続いておりますが、今後も粘り強くやっていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

《会長》

ありがとうございました。医療も大きい問題ですが、今日の一番最後に、市長さんから総括のご意見をいただけたと思います。

続きまして太田委員さん申し上げます。

太田委員

田原青年会議所の太田です。

初めて資料を見させていただきまして、グラフとかいろいろな統計がとれているので分かりやすいですけれども、一つひとつの重要度アンケートの中で、例えば19番であるとか32番という、ブルーなゾーンに入っている部分の一つひとつの項目が大まかなものになっているので、これがもう少し深堀りになっているとすごく分かりやすいと思いました。あとは初めて見るものなので、いろいろ興味を持っていきたいなと思っております。ありがとうございます。

《会長》

これはこの項目より細分化できるんですか。これが項目ですか。

＜政策推進課副主幹＞

この市民意識調査は3年ごとに行っております。今回は施策という単位でとっておりますけれども、前回はその下の基本事業という項目でとったのですが、項目が非常に多くなってしましまして、なかなかアンケートの回答率が逆に下がってしまうというのもあって、今回は見直すという方向で施策にてアンケートをとらせていただいております。

《会長》

これはまた必要に応じて、分野ごとで出す必要があれば出していただくということで。全部だと膨大になるものですから、お願いします。

続いて大羽委員さん申し上げます。

大羽委員

更生保護女性会の大羽といいます。

更生保護女性会という会から離れて、私が見ている雰囲気といいますか、市の状況や感じたことしか言えませんけれども、この膨大な資料にのっとった発言でなくて申し訳ないですけど「いきいきした活気ある人との交流の場」があると良いのではないかなと思っています。赤羽根とか渥美地区の方がさびれてきているのではないですけど、今まで暮らしていた頃よりもちょっと静かな感じがするんです。私は赤羽根ですけど、あまり「人が交わる場」というものもないし、私が勤めていた地区でも保育園がなくなってしまって子供の姿がないと寂しいということもあり、もうちょっと今あるものを活用して人が触れ合う場がたくさんできるといいなと感じております。以上です。

《会長》

いい指摘をしていただきありがとうございました。この説明の資料のみならず、広くご意見をいただければと思います。

続いて鈴木委員さんお願いします。

鈴木委員

失礼します。市の老人クラブの鈴木眞一郎と申します。

さきほどから市長さん、会長さん、また、担当課長さんの資料説明で、大変な時を迎えておるなという感じがしました。新聞等でも書かれておりましたが昭和20年以来の、名付けると「平成の大変革」「平成の維新」そんな感じがしました。このような時に田原市が総合計画にいち早く取り組んで、このような会を設けていただいてスタートしたということで、大変敬意を表したいと思います。本当に役に立てないと思いますが身の引き締まる思いでおります。

少し話しは変わりますが、市の老人クラブが140ありますが、先日、その内120名位が毎年恒例の視察旅行に行きました。今年は神戸の「人と防災未来センター」を見に行きまして、本当に皆さんショックを受けて帰ったわけでございます。7月位に堀切が避難訓練をした様子がテレビに映りまして、私共老人会の役員会でも話題となり、地元の会長さんにどんな状況で避難訓練をしたかという説明をお願いした経緯がございます。大震災、最近では5連動と言っておりますが、やはり防災を一つ目玉にして取り組んでいくべきではないかという思いでございます。そして当然のことながらさきほど、高齢化のお話が出されました。私共も高齢化のメンバーの一員でございますけど、市の老人クラブとしても意見をくんで、この計画に取り入れ、更に市民の皆さんとともに高齢化対策に取り組んでいくということを老人クラブの方としてやっていきたいと思っております。また、一市民、老人クラブからの代表ということで、いろいろ皆さん方にご指導いただければありがたいと思います。感想だけでございます。

《会長》

ありがとうございました。防災、それから高齢化。非常に大きいですが乗り越えていく、あるいは見方を変えて支援していく。とても重要な今回の計画のポイントだと思います。それでは豊田委員さんお願いします。

豊田委員

豊田です、よろしくお願いします。

今日一番目についてのは、皆さんと同じでグラフでございます。私も立場上、福祉関係がみんなブルーに入っていますので、重要度というのは確かにそのとおりだと思いますが、満足度がまだまだ足りてないという現状で、市民の方の意識を再確認いたしました。ですからこの辺の、特に高齢者福祉等はここ5年・10年大変充実してきている、というふうに思っておりますが、まだまだいろいろなところで足りないものがあるのかなど、そんな感想を持ちました。また、この辺りはいろいろ部会的にも私共でも確認したり、あるいはお聞きして、是非今後の施策に活かしていければと思っております。よろしくお願いします。

《会長》

ありがとうございました。福祉の問題は重要な課題ですので、よろしくお願いします。続いて林委員さん、よろしくお願いします。

林委員

社会教育団体連絡協議会の林でございます。

社会教育団体連絡協議会といってもお分かりにならないと思いますが、田原にはそういう組織が前からありまして、5つの団体が加盟しております。私は文化協会の会長として会に参加しておりますけれども年数が長いということで会長を仰せつかっております。それで、ここへ出てきたという次第でありますけど、一つ事務局にお尋ねしたいのですが、私はこの3月で任期を終わろうと思っております。今日が1回目ですが2回からずっと5回目までは来年度になると思います。人が代わっても今日いただいた辞令は活きるのか、それとも替われば替えていただけるのか、それはどうでしょうか。

《会長》

事務局からお答えください。

<政策推進課長>

条例にございますように、一応任期は2年というふうになっておりますけれども、辞任の申し出があれば必要に応じて適宜入れ替えをさせていただきたいと考えておりますので、

よろしく申し上げます。

林 委員

ありがとうございます。それでは本題を一つ。私はあらゆることを数値目標で出さないといけないといつも言っているのですが、さきほど質問がございました、実現したのはどれだけかというところがはっきりしていない。次回に答えるということですから楽しみにしておりますけれど、数値目標がないということは、どこまで実現できたのかははっきりしないまま終わってしまう可能性があるのも、どんなことも数値目標をきちんと出さないといけないと思います。これは大きな問題ですけれども、一つ人口の問題に関連して渥美病院の産婦人科の関係はどうなっているのかなど。渥美病院で子供を出産することがどのくらいあるのか、あるいは、今可能なのか、もっともっと充実していきたいと思っておられるのか。院長さんがみえるので、それをお尋ねしたいと思いますのですがどうでしょうか。

塚本委員

渥美病院の塚本ですが、大変痛いところがございます、現在出産数は年間300弱とあったところなんです。2人の産婦人科医師が中心となって、もちろん医師だけではなく、助産師・看護師が共同してやっているのですが、医師がいないと何ともならないということで、2人いますが、その内1名は厚生連の規定によりますと定年を過ぎて、準職員という形で1年ごと更新しております。まだまだ、お若いものですから、もうしばらくは大丈夫だろうと思います。また、産婦人科の医師をリクルートはしていますが、なかなか人がいないという状況であります。里帰り出産等そういった点で多くの方々からご希望はいただいておりますが、なかなか応えられていないということが現状であります。将来展望はどうなるのかと言われると大変苦しい状況であります。

林 委員

分かりました。是非今よりも一層の充実をお願いしたいと思います。

表を見ますと、田原のまちに欠けていると感じることが。それは1番に「交通の利便性」というのが挙がっております。2番目が「買物等の利便性」、3番目に「医療・福祉の充実」というようなことが書いてありますけれども交通が全てに関っているのではないかと。この細長い半島ですから、どうしても交通の利便性ということのを第一に考えないといけない。この間、県議さんが質問されていたようですけど、なかなか渥美半島縦貫道というか伊良湖から豊川インターまで1時間で行けるといのが実現できない。もう10何年言い続けているけど全然進んでないので、その辺のところを皆不満に思っているのではないかなと思います。そういうところからまず、交通の利便性、そしてそれに関連して医療の充実ということも大いに考えていかなければいけない。以上、感想であります。

《会長》

ありがとうございます。

《山本顧問》

本当におっしゃるとおりだと思います。交通の利便性ですとか医療、これが地域にないとなると、本当に住みやすいとは言えないと思います。そういう意味でいろいろな課題に立ち向かっていくなかで、最終的には交通の利便性に行き着いてしまう。そういうことを本当に感じております。おっしゃるとおり本当に頑張って行きたいと思っております。

林 委員

よろしく申し上げます。

《会長》

どうもありがとうございました。

続いて森下委員さん、お願いします。

森下委員

田原市土地改良区の森下です。今言おうと思っていたことを林委員さんが言われたので、どうしようかと思いました。

やはり道路のアクセスが渥美半島は大事だと、それと土地改良の観点から言うと、人口が減ると書いてあったが、家の周りでもやはり後継者が減ってくる。5年・10年のスパンでみると、そういうふうが減っていくのかなと思いました。それと耕作放棄地もどんどん増えてくる。市の方もタイアップして一生懸命やっているということで、農業に手をかける。特にキャベツをやっている人は5町・6町・7町と、栽培面積が増えている方が多いので、そういう人達に上手に耕作放棄地を利用してもらおうという、そういう感じです。簡単ですが以上です。

《会長》

ありがとうございました。大変大きな渥美半島の問題である耕作放棄地のご指摘をいただきました。

では続いて、今泉委員さん。

今泉委員

消防団長の今泉です。

この中に消防・救急体制の充実という文面がありますが、年々充実していると実感しております。ただ、消防団員のなり手がだんだん、全国的にも減っているということです。今

日は商工会長さんがみえておりますが、企業から若手の子をどんどん出すようにとか、企業が応援してくれるとありがたいなということも考えております。消防体制・救急体制、こういった部分が充実して、僕は全国でもレベルの高い市だなと考えておりますが「防災力」という捉え方をすると、どうも弱いなという部分を感じております。自主防災会との連携もできておりませんし、いざとなった時に警察と消防とのパイプというのものないですし、大きく防災力ということで捉えると、まだまだやっていかなくてはいけない部分が残っていると思います。また回を重ねながら、皆さんのお知恵をお借りしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

《会長》

防災は非常に重要なポイントだと思います。次にご意見をいただく時に併せてご意見いただければ、と思います。

では、続いて向こう側の藤城委員さんお願いします。

藤城委員

私は田原臨海企業懇話会の副会長をやらせていただいております、会長は山田さんがおられます。

うちとしてはBCP、危機管理というところが大変重要なこと。いざという時には従業員をどこに避難させるか、そういう道の問題が非常に重要視されております。トヨタさんもそうですが、どこへ避難したらいいか、笠山の地区へ非難するというところで、この前ありました1万ちょっとの人が、あそこへ行けばパニックになってしまうので、どのようにして分散していくのか、そういう課題があります。

それと人口の問題ですが、住みよいまちというところからすれば、もっと人口が増えていいのでは。そういうところに関しては住宅の受け入れ体制が不足しているのではと思います。住宅を開発するというのは、いいところはいくらでもあるので着目していただき、そういうところへ住みよい住宅を建てて人に来てもらう。そういうのも必要なことと考えておりました。是非とも計画の中に人口を増やすということも入れてもらえればいいかなと思っております。以上です。

《会長》

ありがとうございました。BCPと人口の指摘をいただきました。

では続いて渡會委員さんお願いします。

渡會委員

渥美商工会長の渡會でございます。

日頃は私共、問題として思っておりますのが皆様おっしゃられるように交通インフラの

問題です。特に半島の先端地域に住んでおられる方にとっては、高速道路に入るまでに1時間半もかかってしまう、なかなか身動きがとれないなという思いがしています。それは皆様共通の認識でございますので別としまして、市の人達にお聞きしたいのですが、道路の計画というのは、ここ数年進んでいるのでしょうか、ということと、そういう計画を県・国にしっかり検討していただいているのかということ。そして道路問題とは別に、商業の活性化という問題でございますが、特に旧渥美地域の寂しい状況を考えますと、私共としましては是非ともこの半島地域の先端部分が地域の人達とともにもう1回盛り上げられるような何か、まちづくりをしていきたいなという思いでおるわけです。旧渥美地域には「福江・清田地区まちづくり推進協議会」というのもありまして、いろいろ提言をいただいておりますが、当初合併の時に田原市側から壮大な計画を、計画というよりも夢物語を伺ったのですが、それがほとんど進まなかったということで。これも予算のなせる業だと、我々もまごまごしているわけですが、いずれにしても何とか地域ぐるみで地元の人で盛り上げていくような体制をとっていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

《会長》

ありがとうございました。道路ということでご質問でしたが、何か事務局からあれば。

《会長》

じゃまた別の機会に資料はお出ししていただけますか。

では次、山田委員さん。

山田委員

田原市商工会長をさせていただいている山田でございます。

さきほど、戸田会長から工業と農業が日本一だという話がありました。できれば商業もそういうものを目指したいなという思いでいっぱいですけれども、なかなかできないということで、今後一生懸命取り組んでいきたいと思っています。さきほど、道路の問題が出てきましたが、田原臨海で70社14,000人の方が働いておまして、6割が豊橋地区から通っておられます。それから、明海地区にも80社14,000人位働いております。28,000人の方が通勤をされておるということです。道路事情は大変良くなりましたが、朝晩の混雑は産業車両・通勤車両等、渾然一体となっており、なかなかうまく解決できません。今、明海・田原地区が一緒になって問題解決をしようということで研究会等を開いて頑張っております。それから、トヨタさんの田原工場というのは最新で、永久に残るというふうに私共期待しておりましたけれども、今度、東北にエンジン工場ができますと、九州・中部・東北の3拠点となり、そこの競争が始まると思います。大変安心しておりました田原工場というの、今後はいらなくなる可能性が十分できてくると言われておりま

すし、そんなことを感じております。早急に部品の納入効率を上げていかななくてはならないと思います。道路問題も豊橋地区を含めて早急に解決する問題だと思います。それから、欠けているということで買物等「生活の利便性」という問題が出ております。私共、何十年も前から消費者動向調査をやっておりますけども生鮮食料品については、こんなに安く美味しいところはないと評価をいただいております。ただ、高級な衣料品等については非常に不満があって、買いにくいという指摘をされておまして、こういうのもここに出ているのかなという感じがします。道路が良くなれば、そういう物も簡単に求められるようになるかなと思っております。

それからまちの様子は、臨海の発達とともにまちの中も影響がありました。特にトヨタの従業員の増加、臨時工の方が増えるとまちの中が活性化されるということがありましたけれど、今は400人位でしょうか。一時は3,000人位の方がおられ、いろいろなものが売れたと思います。そういうものもなくなっています。さきほども言われましたように人口の増加、外から来る人をこれから増やす必要がある、そんなふうに思っております。以上でございます。

《会長》

ありがとうございました。臨海部の産業、それを支える基盤等、あるいは、生活環境としての買物。そういう環境の指摘をいただきました。

では続いて、中神委員さんお願いします。

中神委員

田原市の農業者を代表しまして農協組合長の中神でございます。

田原市が市として全国一の生産額ということでさきほど、市長さんからありました。7百数十億円という形が現在現れていますが、現状で言いますと震災以降、消費動向・経済等が変わってきまして、農業に対しても厳しい現実がありまして販売額も下がっております。農家経営も肥料・資材高騰等のおり、大変厳しい現実があります。田原市の基盤は、農業ですので衰退していくと考えるわけではないですが、総合計画の中で農業者がもっと元気が出るような大きな計画を提出いただき、農業者の生活、コミュニティも活発化していけるような計画等を私共一緒に考えていかないと、この渥美半島が農業衰退の一途で全国のトップでありながら沈んでしまうというのが現実に考えられますので、田原市の基盤の農業として努力して、総合計画においても1千億円の目標がありますけど、そうまでもなくとも着実な農業としていきたいなど、そういうのの一つ加担させていただければいいなどと思います。

《会長》

はい、ありがとうございました。渥美半島・田原の基盤の産業というのは農業ですから

重点的に取り扱われる展望を見出して行けるようになると、と思います。

続いて、河邊委員さんお願いします。

河邊委員

コミュニティ連合会副会長を仰せつかってます河邊です。

コミュニティ連合会副会長は河邊・光部と2人おりまして時々間違われます。字は違いますけど同じ呼び名でございます。

私が校区会長になって3年でございます。この4月からコミュニティ協議会という名前に変わりました。今まで自治会が主体でコミュニティがその中にいたということですけど、これからはコミュニティが主体でその中に自治会があるということにとまどっております。けれども市民・校区民が出やすいようなコミュニティの組織形態を分かりやすいようにできたらいいなと思っております。私も田原市地域コミュニティ活性化研究会に入っている勉強しておりますけど、その辺もふまえて今後進めていきたいなと思っておりますので、よろしくをお願いします。

《会長》

市民活力と参加は重点ですので、よろしくをお願いします。

では、もう一人の光部委員さん、お願いします。

光部委員

コミュニティ連合会副会長の光部です。

もう一人の河邊さんがおっしゃられましたので、そちらの方は別としまして、個人的な話です。私の家は農家でして、さきほど組合長さんがおっしゃられたように大変厳しい時代が続いているわけです。家も息子が跡を取っておりますが、このような状態が続いていくと、この先真っ暗な状態ですので何とか良い計画があったらなと思っておりますので、今後ともよろしくをお願いします。

《会長》

ありがとうございました。

では山本委員さんお願いします。

山本委員

前の河邊さんが説明してくれましたけど私は意見というより、最初ですのでお聞きしたいのですが。組織の2・3ページを見ていただけますか。田原市の若手職員が出るというのは、こちらの部会メンバーに入っている方ですか。入っていないで、事務局に入っていますが一緒に考えていくという捉え方でいいですか。

《会長》

では事務局から。

＜政策推進課長＞

戦略部会の各若手の担当が3名、各部会ごと貼り付けてございますので、まちづくり市民会議の事務局を兼ねて、その中に常に参加していくというふうにご理解いただければと思います。

山本委員

ありがとうございます。もう一点、全体会ですけど、このやり方というのは代表の会長・副会長を作ると思うのですが、その人達が出るのですか。全部だと大変なことになるので、その辺はどうですか。

＜政策推進課長＞

基本的には全体会というのは全員の方々の出席をお願いしていくものです。市民会議の全員の方々の出席をお願いしていくものです。

山本委員

6部会全員の会議ということですか。

＜政策推進課長＞

はい。第1回を12月19日に全員出席していただいて、全体会を開催する予定となっております。

山本委員

では第2・3回も全部同じような形ですか。

＜政策推進課長＞

はい。

山本委員

そうですね。意見は部会ごと出てくると思いますので、またその中で出していきたいなと思います。それから道路の件が出ていますけど、市長のやっている公共交通会議がありますし、私も研究会の座長をやっておりますから、道路・公共交通の両面から研究しておりますのでよろしくをお願いします。以上です。

《会長》

ありがとうございました。

それでは、山本明子委員お願いします。

山本明子委員

教育委員の山本です。

課長さんが教育委員会におみえになりまして女性の意見を聞きたいということだったんですけど、女性が少ないので、今日は女性の意見を言うのかなと思っております。少し個人的な話になるかもしれませんがお願いします。その前に教育に関してですが、欠けているところでは6.2%とありながら重要施策としては上位にきています。これは住民の方々が大事だと思っていることだと思います。今、伊良湖小学校は45人です。一番少ないクラスは5、6人です。2年後には複式といいまして2つの学年が一緒に勉強するという状況が確実に増えてくるということです。これは今まで人口の問題とかいろいろ皆さん話されましたけど子供にまで影響してきますし、田原の将来にも影響してきます。人口が増えるにはどうしたら良いか、そんなところをこの会議で話ができたらいいのではないのでしょうか。どうしたら増えるのかというのは、全国的にも結婚する若者が少ないし、田舎に戻ってくる子も少ないという状況をいかに打開していくかということだと思います。実は私お店をやっています、商工会長さんが言われたように商業・工業の充実で言いますと、田原は野菜が安いんです。私はサンテパークかロコステーションに大体野菜を買いに行きますし、花はロコステーションに行きます。主婦は安いところをよく知っているので、田原はすごくいいところだと思います。ですけど、食べる場所や着るものが少ないかなと思います。そしてこの頃すごく感じているのは観光のことです。私は豊川出身ですが、私が子供の頃は、259号線がいつも渋滞していて3、4時間かかって伊良湖岬から帰る状態でした。ほとんどの方がそうだったと思いますが、今はそういうのがありません。道は空いていて早く帰れますが、面白いものがないのではないかと。伊良湖ビューホテルさんはいろいろなイベントをされていて満室で入れない時もあるようで、そういうふうに一生涯懸命やっているところもありますが、何か遊ぶところが少ないなと思います。私は、綺麗なところを見に行ったり遊びに行きますが、最近では蔵王山を登ると富士山が見えます。ネットで調べましたら、日本の一番西で富士山が見えるのは田原市です。こんないいところがあるので、いろいろと田原のいいところを皆で考えて田原に人が来るような、そんな会議にしていただけるといいなというのが自分の意見です。

《会長》

ありがとうございました。この審議会が始まる前に市長さんとお話ししたら、婚活と言っているのでしょうか、結婚が非常に重要ということでしたので、根底的な人口の問題

だと思いますし、取り上げられていくような課題の一つだと思います。ありがとうございました。

ここからは議会の皆さんに。太田委員さんお願いします。

太田委員

文教厚生委員長を務めさせていただきます太田です。

この資料の中で11ページに市民が考える、重要施策のベスト3「医療」「福祉」「教育」全て私の所管の分野です。今日、皆さんの意見を聞いて文教厚生にかかわる話が半分くらい出ましたので、総合計画の立場上、私は文教厚生委員長としてしっかり意見を出していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

《会長》

よろしくお願いします。

では、赤尾委員さんお願いします。

赤尾委員

経済建設委員長を仰せつかっております、赤尾でございます。

さきほどから皆さん道路問題をいろいろおっしゃられました。税の最も公平な分配方法はインフラの整備ではないかなと思っております。そういう観点から私も経済建設委員長として、まずはそのところはしっかりと、ご意見を挙げさせていただきたいと思っております。その上で、皆さんとともに日本一住みやすいまちとはどんなまちか、ということを議論させていただけたらいいなと思っております。よろしくお願いします。

《会長》

ありがとうございました。

それでは、金田委員さんお願いします。

金田委員

総務委員長の金田と申します。

皆さんのお話を聞いていますと、財政だとか税収だとか人口そのものが大変厳しいような状況にこれからなっていく、でも田原としてさきほど話がありましたが、いいところは沢山あります。これから展望が開けるような田原に関するような記事を私達も新聞紙上で見ているので、そういうところもしっかりと取り入れた計画を議論していけたらと。また皆さんのお知恵を拝借したいと思います。

《会長》

ありがとうございました。

では、おまかせしました。山本顧問お願いします。

山本顧問

顧問の山本でございます。

今日は本当に田原市内のそうそうたる団体や組織の皆さんがお集まりで、田原市とは何かなということ考えた時に一つの切り口としては、今日お集まりの組織そのものが私は田原市ではないかなと言えらると思います。組織を活性化していただくために田原市の職員がスタッフとして支援をしていく、そんな考え方もあるのではないかと考えております。そういう意味では、それぞれの専門的な見地から今日みたいなご意見を出していただきたいと思ひますし、それと同時に最上位の計画ですので是非とも横断的にそれぞれのご意見等を、こういう機会に十分ご理解をいただきながら同じ方向に向かって進んでいただきたいと思ひます。さきほど、山本さんが人口のことをおっしゃいました。人口減少時代に向かひていく中、人口が減っていくことを前提に計画を立てるといふ部分もある意味必要かもしれませんが、ただやはり人口減少していくまちで元気の出てくるまちはそうはないと思ひます。やはり人口が増えていくというのが基本的な路線ではないかなと、今ふと思ひ出し原点に立ち返って考え直させていただいた次第です。そしてさきほど、新項目で防災関係を付け加えるというお話がありましたけれども、この計画が作られた平成18年は、その当時ライブドアの堀江社長が逮捕され、お金に対する考え方というのに一石投じた時代でありました。その2年後、平成20年にリーマンショックもありましたし、そこでまた我々は大きな方向転換を迫られたわけですから。また今回の震災ということでも特に震災対策はもちろんです、エネルギー施策がこれから日本では転換を図られていく、そういう意味で、この渥美半島・田原市というのは風が強く日射量も多い。またメガソーラーの計画ですとか70km沖のメタンハイドレート等、全国的に見てこういった恵まれた地域というのは稀だと思ひますし、私も愛知県に行つて新エネルギー・再生化エネルギーに関しては胸を張つて、その分野は田原市だということでも思ひております。是非そういった時代の流れを反映させていただけるような、また今回の計画で5年後見ても決して色あせることのないように、これから5年間はこれでいくわけですから、そういった観点も含めてご審議いただけると幸いだと思ひます。以上でございます。

《会長》

ありがとうございました。それでは一当たり皆さんのご意見をいただきましたが「これは言い忘れた」といふようなことはござひますか。

《会長》

よろしいでしょうか。貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。冒頭の市長のごあいさつ、私もあいさつさせていただきましたが、一つひとつ皆さん方のこうやっていこう、あるいは、こういう問題でこれが積み合わされて田原の地域力というふうになっていくんだという感想を持たせていただきました。それでは最後に市長さんからコメントいただけますか。

《市長》

今日は長時間にわたりまして本当にありがとうございました。一通り各委員さんの意見をいただきまして大変心強く思いました。今回の計画は、やはり多くの市民の皆さんがいろいろな想い・意見を出していただくということも大事だと思います。各委員さん方も、それぞれの団体あるいは地域のグループがあると思いますので、是非今回の計画はこういった形で皆で知恵を出し合う計画ということで周りの方々と議論をしていただきたいというふうに思います。そして、会議の度に新しい話題が出てまいります。今回の審議会はできるだけ資料を事前に配布します。皆さん方のご意見を頂だいしやすいう論点を整理しながら早目に問いかけるということも必要ですし、これからいろいろな田原の将来を考えるに当たってこれはどうなっているのか、又はこういった資料はないのか、そういったご提案・ご希望の点を事務局の方にあらかじめ気が付いたときにお問い合わせいただければと、このように思っております。田原は力のある地域ですので、地域の総合力を発揮すれば本当に日本のモデル的な地域にできます。とにかく厳しい時こそ明るい田原の将来を目指して、いろいろなご意見をいただければありがたいと、このように思っています。これから長期間にわたりますけども是非皆さん方のお力を貸していただけますよう、よろしくをお願いします。

その他

《会長》

ありがとうございました。それでは第4の項目ですが、その他何かありましたら。事務局からありましたら。

<政策推進部長>

大変お疲れ様でした。次回の審議会日程でございますが、次第に書かれておりますが第2回は来年3月19日を予定しております。皆さん、ご都合がよろしければ次回につきましては3月19日でいかがでございますか。

<政策推進部長>

それでは次回3月19日午後1時30分で、会場はこの場所をお願いしたいと思います。さきほども申し上げましたとおり、いろいろな資料につきましては事前に配布いたしますとともに、何かご要望がありましたら、事務局の方へお問い合わせいただければと思っております。どうもありがとうございました。

《会長》

その他に何かありますか。

《会長》

特にないようですので、以上をもちまして第1回の田原市総合計画審議会を終わらせていただきます。どうもご協力いただきましてありがとうございました。